

■安平町で定める断熱・省エネ改修工事の判断基準（平成 28 年省エネ基準）

1 居室の窓の断熱性能を高める工事の判断基準

熱貫流率	2.33 W/m ² ・K以下
------	----------------------------

建具とガラスの組合せの例

建 具		代表的なガラスの種別
種 類	材 質	
一重サッシ	木製又はプラスチック製	低放射複層ガラス (Low-E) 空気層 12mm
		三層ガラス 空気層 12mm+12mm
	金属製とプラスチック製又は木製の複合構造	低放射複層ガラス (Low-E) 空気層 12mm
		三層ガラス 空気層 12mm+12mm
二重サッシ	建具の一方が木製又はプラスチック製	単板ガラス+普通複層ガラス 空気層 12mm
	材質は問わない	単板ガラス+低放射複層ガラス (Low-E) 空気層 12mm
三重サッシ	材質は問わない	単板ガラス+単板ガラス+単板ガラス

2 外壁、屋根・天井又は床の断熱性能を高める工事の判断基準

① 断熱材の種類

断熱材区分	熱伝導率 (W/(m・K))	断熱材の種類例
A-1	0.052~0.051	<ul style="list-style-type: none"> 吹込み用グラスウール GW-1、GW-2 (施工密度13K、18K) タタミボード (15mm) ・A級インシュレーションボード (9mm) シーリングボード (9mm)
A-2	0.050~0.046	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用グラスウール 10K相当 ・吹込み用ロックウール 25K
B	0.045~0.041	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用グラスウール 16K相当、20K相当 A種ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板4号 A種ポリエチレンフォーム保温板1種1号、2号
C	0.040~0.035	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用グラスウール 24K相当、32K相当 高性能グラスウール 16K相当、24K相当、32K相当 吹込み用グラスウール 30K相当、35K相当 住宅用ロックウール マット、フェルト、ボード A種ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板1号、2号、3号 A種押出法ポリスチレンフォーム保温板1種 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームA種3 A種ポリエチレンフォーム保温板2種 A種フェノールフォーム保温板2種1号、3種1号、3種2号 吹込み用セルローズファイバー 25K、45K、55K 吹込み用ロックウール 65K相当
D	0.034~0.029	<ul style="list-style-type: none"> 高性能グラスウール 40K相当、48K相当 A種ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板特号 A種押出法ポリスチレンフォーム保温板2種 A種硬質ウレタンフォーム保温板1種 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームA種1、A種2 A種ポリエチレンフォーム保温板3種 A種フェノールフォーム保温板2種2号
E	0.028~0.023	<ul style="list-style-type: none"> A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種 A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号、2種2号、2種3号、2種4号 A種フェノールフォーム保温板2種3号
F	0.022以下	<ul style="list-style-type: none"> A種フェノールフォーム保温板1種1号、1種2号

② 断熱材の必要厚さ

住宅の種類	断熱材の 施工法	部位		断熱材 の熱抵 抗の値	断熱材の厚さ (単位：mm)						
					A-1	A-2	B	C	D	E	F
木造	充填断熱工法	屋根又は 天井	屋根	6.6	345	330	300	265	225	185	150
			天井	5.7	300	285	260	230	195	160	130
		壁		3.3	175	165	150	135	115	95	75
		床	外気に接する部分	5.2	275	260	235	210	180	150	115
			その他の部分	3.3	175	165	150	135	115	95	75
		土間床等 の外周部	外気に接する部分	3.5	185	175	160	140	120	100	80
			その他の部分	1.2	65	60	55	50	45	35	30
枠組壁工法	充填断熱工法	屋根又は 天井	屋根	6.6	345	330	300	265	225	185	150
			天井	5.7	300	285	260	230	195	160	130
		壁		3.6	190	180	165	145	125	105	80
		床	外気に接する部分	4.2	220	210	190	170	145	120	95
			その他の部分	3.1	165	155	140	125	110	90	70
		土間床等 の外周部	外気に接する部分	3.5	185	175	160	140	120	100	80
			その他の部分	1.2	65	60	55	50	45	35	30
木造、枠組壁 工法又は鉄 骨造	外張断熱工法 又は内張断熱 工法	屋根又は天井		5.7	300	285	260	230	195	160	130
		壁		2.9	155	145	135	120	100	85	65
		床	外気に接する部分	3.8	200	190	175	155	130	110	85
			その他の部分								
		土間床等 の外周部	外気に接する部分	3.5	185	175	160	140	120	100	80
その他の部分	1.2		65	60	55	50	45	35	30		
鉄筋コンク リート造	内断熱工法	屋根又は天井		3.6	190	180	165	145	125	105	80
		壁		2.3	120	115	105	95	80	65	55
		床	外気に接する部分	3.2	170	160	145	130	110	90	75
			その他の部分	2.2	115	110	100	90	75	65	50
		土間床等 の外周部	外気に接する部分	1.7	90	85	80	70	60	50	40
	その他の部分		0.5	30	25	25	20	20	15	15	
	外断熱工法	屋根又は天井		3.0	160	150	135	120	105	85	70
		壁		1.8	95	90	85	75	65	55	40
		床	外気に接する部分	3.2	170	160	145	130	110	90	75
			その他の部分	2.2	115	110	100	90	75	65	50
土間床等 の外周部		外気に接する部分	1.7	90	85	80	70	60	50	40	
	その他の部分	0.5	30	25	25	20	20	15	15		